



おまち

Vol.
90

2015. 7. 1 (隔月1回1日発行) 編集発行：群馬県県土整備部都市計画課まちづくり室(企画推進係)



道の駅を核としたまちづくり

- 道の駅玉村宿 必要性と活用について
- 地域外から活力を呼ぶ道の駅「川場田園プラザ」

【投稿】 高経大生による空き家利用「0号館」プロジェクト

【トピックス】 中山道板鼻宿のマップと案内板の設置

マーチィ'sROOM

- マーチィに訊け まちづくりライブラリーからおすすめの一冊
- マーチィ VOICE ファシリテーター紹介
- マーチィの掲示板 平成27年度パートナーネットワーク講座受講者募集中！

【まちづくりイベント情報】 県内で行われるイベントの紹介

- マーチィの独り言 まちづくり室が発足しました！

表紙：道の駅玉村宿オープン！



道の駅玉村宿 必要性と活用について

玉村町 経済産業課

必要性について

1. 目的

道の駅玉村宿は国道354号沿いの、関越自動車道高崎玉村スマートIC東隣に今年の5月31日、開設されました。

本道の駅は、今後の町の発展と農産物の生産者・消費者の相互利益、そして道路利用者の利便性に寄与する施設であることを目的としています。

また、広い駐車場と公衆トイレなどを有することから、災害時の防災センターとして玉村町地域防災計画にも位置づけられています。

この施設が開設したことにより、町民の豊かな生活の助けとなり、町の発展に寄与し、末永く利用してもらえることが期待されています。

2. 道の駅の必要性

玉村町は、周辺地域等と比較すると、PRできる主だった特産品が少ないこと、歴史資産などの観光資源が有効に活用されていないこと、鉄道の駅がないこと、河川に囲まれており道路アクセスも良好ではないことなどから、県外はもとより近隣市町村からも立ち寄る人が少なく、主要都市へ移動する際の「通過するだけの町」として知名度の低い状態が続きました。しかし、2011年に本県で開催された大型観光キャンペーン「群馬ディスティネーションキャンペーン」を期に、町を売り出すことが町の発展につながると考え、積極的に町のPRを推進することとなりました。

そのような状況の中、関越自動車道高崎玉村スマートICが昨年の2月に開設し、同年8月には、町の中心を東西に走る国道354号が開通しました。

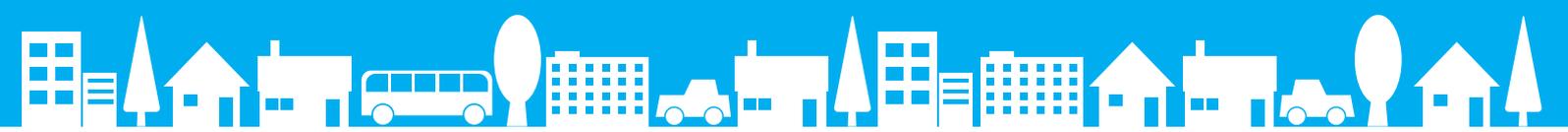
広域圏から多くの来町者を呼び込むことができるICおよび国道354号の開通は、道路アクセスの悪かった玉村町の歴史の中で、非常に大きな転換期となりました。その交通の要となる地点に隣接する形で開設された道の駅玉村宿は、今後「町の玄関口」として、さまざまな可能性を秘めた重要な施設として期待されています。



今後の展開について

1. 情報発信の充実による活性化

関越自動車道のスマートICと国道354号が交差する位置に開設した本道の駅は、町内はもちろん県内外からも多くの人々の利用が見込まれます。「町の玄関口」として情報発信機能を充実させることで「たまむら」を広く宣伝します。具体的には施設内に設置している情報発信センターを活用し、ボランティアガイド付きの日光例幣使道



「玉村宿」まち歩きなどの歴史資産散策コースをはじめ、河川敷や自然を活かしたレクリエーション施設、または各種イベント情報など幅広く町の魅力を発信することで、来場者を町内へ誘導します。

2. 生産・消費相互への利益

直売所では、キュウリ、ナス、トマト、セルリーなどの新鮮な地元産野菜の販売をはじめ、友好交流都市である昭和村、長野県山ノ内町、茨城県茨城町との連携による品揃えの拡充、群馬県食肉卸売市場直営店である「肉の駅」の良質な精肉の販売など、特色のある品を一同に販売することで、売り上げの相乗効果を上げます。また、現在町の特産品として検討が進んでいる水なすの販売や四季折々の地元産野菜を使用した漬け物も加工販売し、本道の駅の特色を出します。特に水なすについては、今後玉村ブランドとしての確立を図り、本道の駅で加工品なども含めたあらゆるメニューとして販売を促進します。本道の駅で販売する各種商品などについては、町内企業のものを中心に取り扱い、地元企業の活性化も図ります。

3. 地域連携の確立

町内にある群馬県立女子大学とは「玉村町と群馬県立女子大学の連携協力に関する包括協定」を提携しており、学生との協働事業としてすでに公衆トイレの壁画デザイン作成、本道の駅の今後の可能性などについて検討を行いました。今後も一層の連携を図るとともに、若者の観点から、運営やイベント、新たな商品開発などに関する企画、提案にも携わっていただき、地域の魅力を集約した特色のある「場づくり」を進めていきます。また、学生の受け入れ体制も整備し、インターンシップなどを通して若者の就業意欲の増進および交流の場としての活用も図ります。

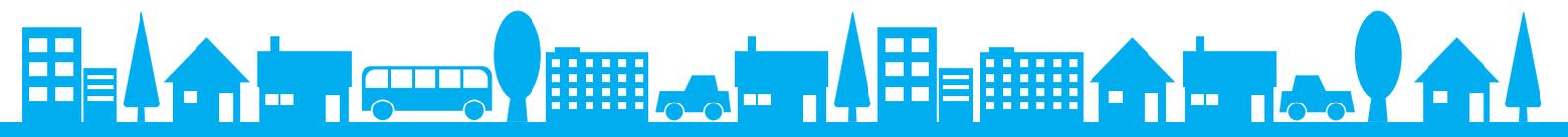


4. 地域の安心を提供する

この場所は町内でも標高が高い位置にあり、高速道路に近いこと、また町上水道施設に近いこと、周辺が広く田園地帯であることなどから、災害時の防災センターとして玉村町地域防災計画(平成25年3月策定)に位置づけられています。

公衆トイレは防災トイレとして、ライフラインがストップしても稼働できるよう発電機や受水槽を用意し、緊急時は近隣にある町浄水場の耐震性配水池から必要な水源を確保します。

また建物屋根に10kw程度の太陽光パネルを設置し、非常時の電源を確保できる施設となっています。





地域外から活力を呼ぶ道の駅 「川場田園プラザ」

道の駅 川場田園プラザ 駅長 小海 一則

川場村とは

川場村は、群馬県の北部に位置し^{ほたかやま}霊峰武尊山の南麓に広がる面積85.25km²、人口約3,500人の農山村です。村内には村名の由来(川が多く在る場所)となる4本の1級河川や多くの小川が流れ、肥沃な大地を形成しています。

むらづくりの始動

昭和30年代以降、人口は4,000人を割込み昭和46年には過疎指定(平成12年解除)を受けました。人口の流失が続きこのままでは村が減ってしまうと考えた当時の村長は、この現状の改善策として50年代初頭、農山村に観光を採り入れ「農業プラス観光」の施策の礎となる基本方針を定めました。

田園プラザ構想と役割

「農業プラス観光」施策により来村者の増加も見込め、観光拠点としての理想的な立地にも近づき、それらを川場村として利活用することで外部からの新たな資本の参入を遅らせることや防ぐことも考えられました。また、新たな入込にも着目し、世田谷区との交流による地場農産物の販売をさらに押し進め、世田谷区民以外の来村客にもアピールする場と販売の出来る場所の構築を検討し、平成2年「村のタウンサイト」として「田園プラザ構想」が動き出し、川場村リゾート整備事業計画の主要事業に位置づけられました。

来村客には物産購入と飲食の提供場所や休憩スペースおよび村内の案内場所の整備などが必要と判断され、村民からは、村外に流出してしまう消費の引き止めや農産物や加工品の直接販売施設を強く求められました。

将来を見据えての若者の村内定着の促進のための雇用の場の確保の重要性、スキー場や村内シャトルバスのターミナル整備も課題となっていました。

以上の多様な機能と要望を踏まえ、平成4年、川場田園プラザの整備が始まりました。

むすびに

道の駅「川場田園プラザ」を利用いただいたお客さまは、平成25年度は目標を上回る約120万人に上りました。

村民と来園客両方に信頼される道の駅を目指し向上を重ね、地域活性の一つの歯車を目指します。

また、このたび、国土交通大臣より全国1,040カ所の「道の駅」の中から、全国モデルに選定いただきました。この栄誉におごることなく、より一層地域の向上と活性化に貢献していきたいと思ひます。





高経大生による空き家利用 「0号館」プロジェクト

高崎経済大学地域政策学部4年 みつはし 三橋 すみか 純香

2015年4月に「0号館」はオープンしました。0号館は、高崎経済大学から徒歩100歩にある古民家を大学生が主体となってリノベーションし企画運営しています。

大学から徒歩100歩

地域にひらけた「寄道校舎」を目指して

地方の国公立大学は中心市街地から離れており、大学生は地域の「人・食」と関わる機会なく毎日を過ごす傾向にあります。そこで、寄り道がてらに地域と交流が図れるコミュニティスペースを作ろうと、2014年4月に大学生によって発足したのが0号館プロジェクトです。

開始時は金銭や人脈がゼロからのスタートでした。自分たちの足を使って物件を探し、大家さんと直接交渉しました。20年間ほど空き家になっておりリノベーションが必要な状態だったので、空き家対策助成金やクラウドファンディング、地元企業のスポンサー協賛を資金に実施。一般的な店舗は開店までの過程をクローズにしていますが、古民家の大掃除や資金調達に至るまでを地域の協力のもと進めていき、メンバー自身が群馬の「人・食」に出会いながら開店までにこぎ着けました。



発足すぐの写真



地域の方と学生の談笑写真



イベントの様子



2階の個室



1階の様子

「足りないなら、創ろう」が合言葉

協力者を招いてのレセプションイベント「入学式」を経て、2015年4月初旬から本格的に運営を開始しました。エントラス料は無料で、フリーWi-Fiやコピー機を完備しています。(別途料金でドリンクバーを利用できます)毎日、学生や近所の方が勉強や読書、おしゃべりに訪れています。また2階の多目的室では打ち合わせなどに活用していただいています。また、「シェフに教わる！簡単お料理教室」「ゼミトーク」「子どもの日イベント」「大画面ゲーム対戦」などをこれまでに企画。ライフスタイルに足りないなと思ったものを利用者と一緒に創っていく仕組み作りを目指しています。

A very merry unbirthday!

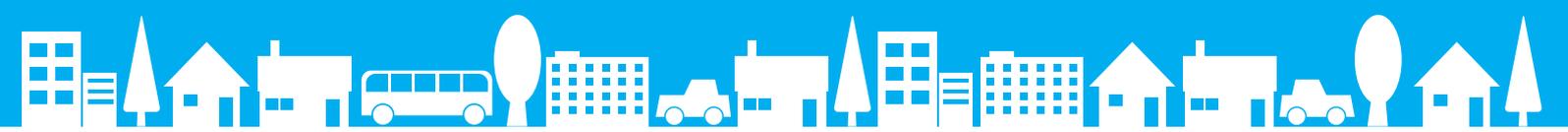
(何でもない日おめでとう)な地域づくり

群馬県内の料理人による「日替わり食堂」や企業の採用活動・マーケティング活動のコラボ、古民家宿泊事業などを今後展開していく予定です。特別なたった1日ではなく、何気ない364日の寄道から出会いや発見が生まれる交流拠点づくりを今後も進めていきます。

昨今、空き家は大きな社会課題となっています。ごく普通的女子大生のアイデアが実現できたのですから、各地で自分の夢や野望を叶える場として空き家を活用していく動きが活発になればと思います。

「0号館」 営業時間：月～金10:00～23:00／日10:00～22:00(事前予約のみ)
所在地：高崎市下小埜町1387-3
連絡先：ogokan.tcue@gmail.com ホームページやSNSも更新中！





いたはなじゆく

中山道板鼻宿のマップと案内板の設置

安中市観光ボランティアガイドの会 / 安中市 商工観光課

1. 安中市観光ボランティアガイドの会の取組み

安中市観光ボランティアガイドの会は、安中市商工観光課に申込みのあったガイド依頼を会員で手分けしてガイドしています。ガイドコースは新島襄ゆかりのスポット「新島襄コース」、安中城址を巡る「城址コース」、それに新しく設定した「中山道板鼻宿コース」などです。“お客さまに喜んでいただく、また安中に来ていただく”をテーマに2011年に発足し、会員数は13人です。

2013年には大河ドラマ「八重の桜」が放映され、新島襄ゆかりの地・安中が脚光を浴び多くの観光客が訪れ、ガイドの会も大忙しの日を過ごしました。会の活動はガイドにとどまらず、安中市の観光地定着化を図るため「八重の桜メモリアル展」や安中観光の起点としてスポットを紹介する「安中ふるさとさんぽ」の展示会を旧碓氷郡役所で開催しています。また、地元の画家が江戸時代の中山道を描いた「中山道上州七宿画展」を昨年開催し、好評を得ました(図1)。

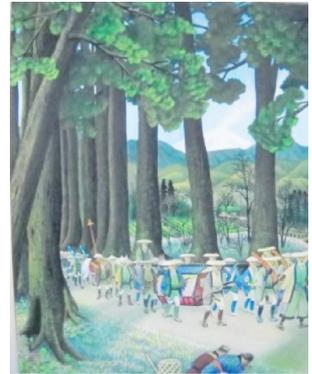


図1 中山道上州七宿画展
「安中原市の杉並木」
画：真田重吉氏

2. 安中市の観光資源

安中市には多くのコアとなる観光資源があります。めがね橋などの碓氷峠鉄道遺産、武家長屋や奉行所宅などの城址文化財、新島襄ゆかりの施設、秋間梅林や磯部温泉、そして中山道や鎌倉街道、参詣道路など街道にまつわる文化財など。

今回はその中でも街道に注目し、ガイドコースの1つである「中山道板鼻宿コース」をさらに観光地化するため、板鼻宿マップと案内板の設置を行いました。



図2 鞆台渡しと徒歩渡し
画：小林絵里子氏

3. 中山道板鼻宿のマップと案内板の設置

(1) 中山道板鼻宿の歴史と風情

中山道板鼻宿は、江戸時代に中山道の江戸から14番目の宿場として栄え、京都までの中山道六十九次の中で塩尻宿と並ぶ最大の宿場でした。

碓氷川の川越えは徒歩渡し、鞆台渡しなどにより行われました(図2)。今も渡し場跡の面影が残っています。

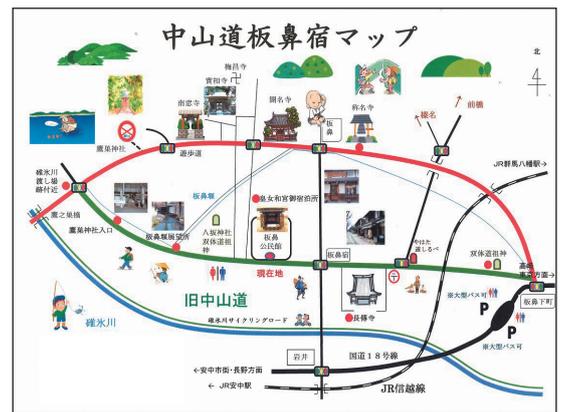
板鼻宿はすでに鎌倉時代から鎌倉街道と東山道の交わる街道の町として栄え、街道沿いには当時の面影を残す寺や市の重要文化財などが現存しています。

(2) マップと案内板の設置

まず、板鼻宿の観光スポットを選び出し散策コースの設定を行いました。起点は皇女和宮御仮宿泊所の残る板鼻公民館で、板鼻宿全体がわかるマップを設置しました。案内板は景観、文化財、歴史的価値から9ヵ所を選びました。案内板の色、デザインは周りとの調和を考えてデザインしています。

なお、設置場所は次のとおりです。

- ①板鼻公民館(板鼻宿マップ) ②鷹巣神社(付近) ③板鼻堰用水路
- ④八坂神社双体道祖神 ⑤寛永双体道祖神 ⑥聞名寺 ⑦称名寺
- ⑧南窓寺 ⑨實相寺 ⑩長傳寺



中山道板鼻宿マップ



一遍上人ゆかりの寺 聞名寺

4. 今後のまちづくりの活動

板鼻宿イベントWEEKを10月に行う予定です。地元の子どもたちも参加できる紙芝居や歴史家の講演など、地元根差したイベントになる予定です。





マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
『限界集落株式会社 黒野 伸一 著(小学館)』



今号のおすすめ
ライブラリー
こちら!



某NOKでドラマを見たという人もたくさんいますよね。ちょっとご紹介としてはタイミングを逸しているかもしれませんが、ご容赦ください。この小説もこれからのまちづくりでは切っても切り離せない「人口減少社会」をどうやって地域が生き残るかをテーマにしています。

人口減少社会がもたらす課題の解決策として、全国的に「コンパクト+ネットワーク」によるまちづくりが展開されようとしています。限界集落は、拠点になる地域からやはりはじかれるのでしょうか?この小説の中では、限界集落も異彩を放つ切り捨てることのできない地域になるわけです。こんなにうまくいったいいんでしょうか?と思いつつも生き残り策としてはわかりやすく表現されているので、地域づくりの参考にもなるでしょう。

欲を言えば、もっと悪役がでてきて、頭脳的に組織づくりの邪魔をすとか、もっとつっこんでほしい気もしました。もしかして、続編があるのでは?

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

甘楽町 産業課 横尾 貴広



横尾 貴広さん

私は平成24年度の「パートナーネットワーク講座」を受講し、群馬県まちづくりファシリテーターに認定されました。講師の方々、参加者の皆さまには大変お世話になりました。

当町は大下先生をコーディネーターに迎え、平成23年度から「観光まちづくりワークショップ」を開催し、参加者や地域住民と協議しながら「歴史的環境を活かした住民協働の観光まちづくり」を目指してきました。私自身も委員としてワークショップに参加し、何度かファシリテーターを務める中で、特に気を付けた点を皆さまに紹介します。

まずは「時間」です。限られた時間の中で有意義に議論するためには、最初に時間を的確に配分することで、参加者全員が時間経過を意識し、円滑に議論を進めようとする方向性が芽生えます。

さらに、議論に深みを増すために「上手に意見を引出す」事が重要です。大きな声や力を持った意見だけが通らないよう、意見の出ていない(少ない)参加者に話を振り全員の意見を引出すには、単に「〇〇さんはどう思いますか?」と聞くのではなく、より自然に議論の輪に入れるようなタイミングで声をかけることが大切で、ここがファシリテーターとしての「腕の見せ所」だと思っています。

こうして数々の意見を吸い上げ、参加者との合意形成に基づきとりまとめをするのですが…やはり時間が足りないことが多いので、実践を重ねながら精進していきたいと思っています。

最後になりますが、多くの方々と楽しく交流しながら学べる当講座にぜひご参加ください!

マーチィの掲示板

平成27年度パートナーネットワーク講座受講者募集中!

今年もパートナーネットワーク講座を開催します。この講座は、住民主体のまちづくりを推進していくうえで、参加者の意思統一を図るために用いられる手法「ワークショップ」の技法を習得し、まちづくりリーダーを育成しようとするものです。

実践的な講座の中で、まちづくりに必要な知識・技術を楽しみながら学ぶことができます。

市町村職員の方はもちろん、まちづくりを実践している方やまちづくりに興味を持っている方など、ぜひ参加してみてください!



【入門編 (県庁)】

8月20日(木)・21日(金)

【発展編 (みどり市)】

10月23日(金)・24日(土)

【応用編 (館林市)】

11月20日(金)・21日(土)

参加申込は、各市町村都市計画担当課または、県都市計画課まちづくり室企画推進係までお願いします。



神流の涼

夏恒例の川遊びイベント。タイヤチューブ下りや、飛び込みなどが楽しめる。

■7月18日(土)～8月23日(日) 10:00～16:00

■神流町観光案内所下
河川敷

【お問い合わせ先】

神流町観光案内所

TEL 0274-57-3305



カントリーミュージック・フェスティバルin伊香保

伊香保で初めてのイベントです。伊香保が懐かしいカントリーミュージックに染まる週末です。

■7月18日(土)～7月19日(日)

18日(土)12:00～17:00

前夜祭20:00～

19日(日)12:00～17:00

■伊香保特設ステージ
(渋川市営物間駐車場)

【お問い合わせ先】

渋川伊香保温泉観光協会

TEL 0279-72-3151



渋川へそ祭り

日本列島のほぼ中心に位置する渋川市にちなんだ祭り。お腹の全面に顔を描いて「へそ出せヨイヨイ」の掛け声とともに踊る「はら踊り」がユニーク。ほかイベント多数。

■7月25日(土) 10:00～20:00

■渋川市渋川(新町五差路周辺)

【お問い合わせ先】

渋川へそ祭り実行委員会

(渋川商工会議所内)

TEL 0279-25-1311



赤煉瓦倉庫実験活用24

「昭和の玉村っ子〜むかしの遊び〜」

歴史資産を活かしたまちづくりに取り組んでいるまちづくり玉村塾のイベント。昔なつかしい遊びの展示をするほか体験コーナーもあります。25日(土)のみ玉村宿まち歩きスタンプラリー開催 13:30～15:30(受付15:00まで)

■7月25日(土)～7月26日(日) 13:00～19:00

■桐生信用金庫赤煉瓦倉庫(玉村町下新田 まちなか交流館スマイルの西側)

【お問い合わせ先】

まちづくり玉村塾事務局

玉村町生涯学習課文化財係

TEL 0270-30-6180



伊香保ハワイアンフェスティバル

日本で唯一、ハワイが独立国だった頃の史跡が残り、今もハワイとの交流を深める伊香保ならではの祭典。本場ハワイのフラ大会推薦チームによるメリーモナークショーや全国の愛好者による発表、ショッピングモール等。

■8月4日(火)～7日(金)

8月4日(火)12:00～オープニングセレモニー開始予定

■メイン会場(渋川市営物間駐車場)特設ステージ

石段街会場特設ステージ

伊香保公民館

【お問い合わせ先】

渋川伊香保温泉観光協会

TEL 0279-72-3151



第52回桐生八木節まつり

桐生八木節まつりは、歴史ある「桐生祇園祭」と郷土芸能「八木節」を中心としたまつりで、関東三大夜祭の一つとして知られ、毎年多くの観光客が訪れています。

■8月7日(金)～9日(日)

8月7日 15:00～22:00

8月8日、9日 12:00～22:00

■桐生市内各所、本町通り、

末広通り、錦町通り

【お問い合わせ先】

桐生市役所観光交流課

TEL 0277-46-1111(内線566)

桐生商工会議所 TEL 0277-45-1201

・まつり期間中

桐生八木節まつり協賛会事務局

TEL 0277-43-6908



神流ふる里まつり

30年以上続く神流町伝統の夏祭り。中でも山間に轟音が響く花火大会は、迫力満点。

■8月14日(金)雨天時順延8月15日(土)

会場18:00 花火打ち上げ20:00～21:00

■神流町神流川公園一帯

【お問い合わせ先】

神流町役場

TEL 0274-57-2111



第31回新里まつり

戦隊ショーや八木節、芸能人のライブなど盛り沢山の内容。約5千発の花火で締めくくる。

■8月15日(土)12:30～21:20(予定)

■新里総合グラウンド(桐生市新里町新川3069)

【お問い合わせ先】

桐生市新里支所

地域振興整備課

産業振興係

TEL 0277-74-2217



第28回くろほね夏まつり

15日子ども八木節、八木節大会(予選)16日ミニトリン、マスのつかみ取り、子ども八木節、八木節大会(決勝)、花火大会(約2千発)

■8月15日(土)～8月16日(日)

15日18:00～ 16日12:00～

■黒保根運動公園(わたらせ渓谷鉄道水沼駅前)

【お問い合わせ先】

桐生市黒保根支所

地域振興整備課

産業振興係

TEL 0277-96-2113



マーチの独り言

まちづくり室が発足しました!

まちづくり室長 佐藤 英明

皆さん、こんにちは。私は、本年度の組織改編で、県都市計画課内に新たに発足したまちづくり室に、室長として異動してまいりました佐藤と申します。今後ともよろしくお願ひします。

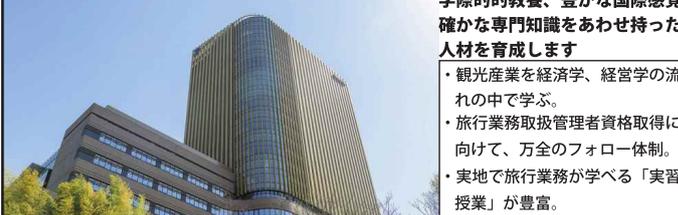
さて、皆さまご承知のとおり、都市計画やまちづくりの実現までには次の3つの段階があります。

①最初が「ぐんま“まちづくり”ビジョン」など、県全体の基本的方向性を示すビジョンを策定する段階。次が、②ビジョンに基づいて、都市計画区域マスタープラン、市町村マスタープランなど、広域的な都市圏や個別都市の基本的な計画を策定する段階。最後に③マスタープランに基づき、市町村が事業を展開する段階です。まちづくり室設置の目的は、市町村が事業を展開する③段階で、市町村に対しスピード感を持って支援することです。具体的には、「市町村の将来像を達成するために、どんな都市機能(医療、福祉、商業、学校など)をいれたらいいのかわ」という事業計画策定や、「それを実現するために国や県のどんな支援事業メニューを組み合わせたらいいのかわ」など、事業展開に関する支援を行います。また、市町村が県と連携してまちづくりを行う際の相談窓口として、県庁内の関係課と協議調整する役割もありますので、皆さまにおかれましては、まちづくりについてお困りのことや、こんなまちづくりを進めたいがどのような手法があるかなど、お気軽に相談していただければ幸いです。

県都市計画課では、「持続可能なまちづくり」を目指して、積極的に現場に出向いて皆さんと一緒に課題解決に取り組んでまいりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

帝京大学 観光経営学科

Department of Tourism Management



学際的教養、豊かな国際感覚
確かな専門知識をあわせ持った
人材を育成します

- ・観光産業を経済学、経営学の流れの中で学ぶ。
- ・旅行業務取扱管理者資格取得に向けて、万全のフォロー体制。
- ・実地で旅行業務が学べる「実習授業」が豊富。

八王子キャンパス
オープンキャンパス
2015 日程

7月12日・8月2日・8月23日
9月27日・10月17日 (学園祭同時開催)



有料広告を随時募集しています。
詳細につきましては、
下記のお問い合わせ先まで、お気軽に
ご連絡下さい。

【お問い合わせ先】

群馬県県土整備部都市計画課まちづくり室(企画推進係)

TEL 027-226-3665

URL <http://www.pref.gunma.jp/06/h5810001.html>